

2019年度 大泉名水会 第2回定例委員会議事録

1. 日 時 令和元年5月12日（日） 午前10時～12時

2. 場 所 東大泉地区区民館 地下第1会議室

3. 出席者

①委員13人、顧問1名、事務所長1名が参加

②参加者は下記の通り（欠席委員は下線）

1区：町田和昭（広報）、丸山徹雄（会計）、

2区：染田屋佐和子（広報）、日比野裕二（庶務）

3区：沖本純子（会計）、根津隆正（副委員長）

4区：佐藤昭彦（環境）、茂野弘（広報）、

5区：小島周一（委員長）、川津基（環境）、

6区：野田万太郎（副委員長）、高橋章（管理）

7区：大栗道孝（管理）、安島敬（庶務）

8区：金本悟（庶務）、岩田建三（庶務）

水野宏（顧問）、佐藤賢了（事務所長）

4. 配布資料

①定例 2019-2-1：大泉名水会 2019年度事業計画（案）

②定例 2019-2-2：宅地内配管（2案件）の公道への移設工事について

③定例 2019-2-3：勉強用資料「大自然からの贈り物～大泉の名水」

平成25年練馬区ふるさと文化講座講演資料（中山講師）

5. 決定事項

- ① 2019年度大泉名水会定期総会において決議予定の2019年度事業計画案の各課題について検討時期を月別展開した検討計画案（資料2-1）を承認した。
- ② 資料2-1に記載されている長年の懸案事項7件（資料2-2もその一部）について2019年度内に何らかの方針を出すべく定例委員会にて検討を進めることについて承認した。

6. 議事模様

6.1 報告事項

① 定期総会準備状況

- ・総会決議について会員からの委任状の回収状況の報告があった。

② 大泉名水会の事業概況

- ・平成8～30年の事業概況は、会員数は横ばい（517→504世帯）だが、平成8年に対して平成30年では検針水量は40%減、収入は25%減。
- ・数10年先には名水会を維持できるかどうかの時期に来ている。
- ・全会員が問題意識を共有し、一丸となって諸改革に取り組む必要がある。

6.2 審議事項

①2019年度事業計画案

- ・2019年度に何らかの方針を提言するため、総会決議事項3(1)～(7)の各課題の検討ポイントと月別検討計画案の説明があった。
- ・各委員から委員と会員の双方の立場からの意見を出し合い、次回以降に各課題について月別検討計画案に沿って検討を進めることを承認した。

6.3 その他

①練馬区ふるさと文化講座「大自然からの贈り物～大泉の名水～」

- ・大泉名水会について理解を深めるための勉強資料として配布された。
- ・水質の評価データ等について当時の値であることの補足があった。

③ 事業所構内の草刈り（環境）

- ・6/2（日）10-12時（決定）、11/3（日）10-12時（調整中）
- ・平らな地面が草刈りの対象。
- ・道具（軍手、雑草の根を掘る器具、ゴミ袋等）は各自持参。

④ 名水喫茶の開催については時期を調整中（広報）。

⑤ 名水会たよりを12月発行予定（広報）。

以上

（書記：庶務委員 日比野裕二）

（委員長：小島周一）